

くにさき学

れきし

① 歴史

くにさき れきし
1. 国東の歴史

やよい あん こくじしゅうらくいせき
2. 弥生のムラ～安国寺集落遺跡～

かみ ほとけ おに さと ろくごうまんざん
3. 神と仏と鬼の里～六郷満山～



国東の歴史

国東の地名についてのお話。景行天皇が今の山口県の方から
遥かなるこの地(国東)を見て「あれは国の埼か」と言われたと
『豊後風土記』(713年)に書かれているよ。歴史上、国前一国埼
一國崎一國東という漢字で書かれているんだ。

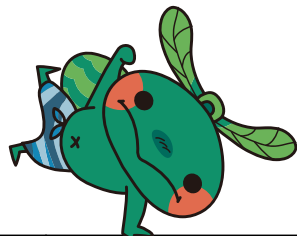


泉福寺は、田原氏能(飯塚城主2代目)という人が建てた、九州
の布教(曹洞宗)のさきがけとなったお寺だよ。安国寺は、足利尊氏
が建立を命じた全国に68ヶ寺しかないお寺のひとつなんだ。

時代	旧石器・縄文時代 ～紀元前4世紀	弥生時代 紀元前4～3世紀	古墳・飛鳥時代 4～8世紀	奈良・平安時代 8～12世紀	鎌倉時代 12～14世紀	室町時代 14～16世紀
日本のできごと	- 稲作の開始 - 狩りや漁、採集による生活 - 縄文土器や石器が使用される - 竪穴住居が出現する	- 弥生土器・鉄器・青銅器が使用される - 高床倉庫が出現する	- 大化の改新が始まる - 第一回遣唐使を送る - 小野妹子を隋に送る(遣隋使) - 聖徳太子が摂政となる - 百濟から仏教が伝わる - 大和政権による統一が進む - 各地の豪族が古墳を造営する	- 都を京都(平安京)に移す - 藤原氏が栄える - 天台宗・真言宗が開かれる - 都を奈良(平城京)に移す	- 源頼朝が征夷大將軍となる - 壇ノ浦の戦いで平氏が滅亡する - 平清盛が太政大臣となり、平氏が栄える - 藤原道長が摂政となり、藤原氏が栄える - 鎌倉仏教(浄土宗・臨済宗・浄土真宗・曹洞宗・日蓮宗・時宗)が開かれる - 二度にわたりモンゴルが襲来する	- 足利尊氏が征夷大將軍となり、室町幕府を開く - キリスト教が伝わる - 鉄砲が伝わる
国東のできごと	- 瀬戸内で多く見られる形のナイフ形石器が使われる(塩屋伊豫野原遺跡) - 大きな岩陰に住み、狩猟採集をして暮らす(成仏岩陰遺跡) - 姫島でとれる黒曜石を加工し、各地に運ぶ(羽田遺跡)	- 海辺の近くで生活する(熊尾遺跡・内田砂丘遺跡) - 稲を作り湿地で高床の建物に住む(安国寺集落遺跡)	- 古墳の壁に舟や鳥、人の絵が描かれる(鬼塚古墳) - 鳥舟付器台が造られる(一ノ瀬二号墳) - 前方後円墳が造られる(下原古墳)	- 市内で最も古いとされる瓦が使われる(桜本宮遺跡・桜八幡遺跡) - 地域の豪族が大規模な建物に住む(久末京徳遺跡) - 木製の仏像が多く造られる - 岩戸寺 薬師如来坐像 - 瑠璃光寺 阿弥陀如来立像 - 胎蔵寺 地藏菩薩立像など 「臣」を名乗ることのできる豪族がいる(飯塚遺跡)	- 板碑が造られ始める - 岩戸寺に国東塔が造られる - 六郷山で国の安全を祈る祈祷が行われる	- 安国寺が建てられる - 泉福寺が建てられる - 飯塚城が造られる - 田原貞広が幕府から国東郷を与えられる
	 ナイフ形石器	 安国寺集落遺跡	 一ノ瀬2号墳出土鳥舟付器台	 古代瓦	 報恩寺 阿弥陀如来坐像	 岩戸寺玉塔(国東塔)  護聖寺板碑  泉福寺

もっと詳しい歴史を知りたい人は右のQRコードからアクセスしてみよう。





電車や車^{くるま}ができたのは最近^{さいきん}のことで、昔^{むかし}は船^{ふね}が活躍^{かつやく}したんだ。船^{ふね}が主^{おも}な移動手段^{いどうしゅだん}だったことを踏^ふまえて、国東^{くにさき}の位置^{いち}などを見^みながらもう一度^{いちど}、国東^{くにさき}の歴史^{れきし}を考^{かんが}えてみよう。

もっと詳しい歴史^{れきし}を勉強^{べんきょう}するには、図書館^{としょかん}で国見^{くにみ}・国東^{くにさき}・武蔵^{むさし}・安岐町史^{あきちょうし}などをみてみよう。ほかにも『国東の文化財探訪』という本もあるよ。



時代	安土桃山時代 戦国時代 16～17世紀	江戸時代 17～19世紀	明治・大正時代 19～20世紀	昭和時代 20世紀	平成時代 20～21世紀	令和 21世紀～
日本のできごと	- 一五七三 ● 室町幕府が滅亡する - 一五九〇 ● 豊臣秀吉が全国統一する - 一六〇〇 ● 関ヶ原の戦いで徳川軍が勝利する	- 一六〇三 ● 徳川家康が征夷大将軍となり、江戸幕府を開く - 一六二二 ● 江戸幕府により、キリスト教が禁止される - 一六三五 ● 参勤交代が制度化される - 一六四二 ● 鎖国体制が固まる - 一七六六 ● 享保の改革が始まる(一七四五) - 一七八七 ● 寛政の改革が始まる(一七九三) - 一八四二 ● 天保の改革が始まる(一八四三) - 一揆や打ち壊しが多発する - 藩校や寺子屋が多く創設される - 一八六七 ● 徳川慶喜が政権を朝廷に返す(大政奉還)	- 一八七二 ● 廃藩置県が行われる - 一八八九 ● 大日本帝国憲法が公布される - 一八九四 ● 日清戦争が始まる - 一九〇四 ● 日露戦争が始まる - 一九一四 ● 第一次世界大戦が始まる	- 一九三七 ● 日中戦争が始まる - 一九三九 ● 第二次世界大戦が始まる - 一九四二 ● 太平洋戦争が始まる - 一九四五 ● 長崎・広島に原爆が投下される - 一九四六 ● 日本国憲法が公布される - 一九四五 ● ポツダム宣言を受諾する	- 一九七二 ● 沖縄が日本に復帰する - 一九九五 ● 阪神・淡路大震災が起こる - 二〇一〇 ● 大分空港が宇宙港に選ばれる - 二〇一三 ● 国東半島・宇佐地域が世界農業遺産に認められる - 二〇二〇 ● 国東市が誕生する	- 二〇二〇 ● 大分空港が宇宙港に選ばれる - 二〇二〇 ● 国東半島・宇佐地域が世界農業遺産に認められる - 二〇二〇 ● 国東市が誕生する
国東のできごと	● 多くの城が造られる - 安岐城、今市城、雄渡牟礼城、岐部城など	- 一六〇〇 ● ペトロ岐部がローマに到着する ● 修正鬼会の荒鬼面が造られ始める ● 七島イの生産が始まる - 一六五八 ● ため池「万治池」が造られる ● 神舞行事の記録が残される - 一七〇〇 ● 吉弘楽が再興される - 一七六三 ● 麻田剛立が日食を予言し、的中する ● 三浦梅園の「天球儀」が作られる - 一八〇〇 ● 伊能忠敬が国東を測量する - 一八八九 ● 市制・町村制が施行される(市内18村)	- 一九二五 ● 第一回梅園祭が開催される - 一九二九 ● 吉武東里が国会議事堂の設計図の公募に応募し、一等に入選する - 一九三三 ● 元田肇が枢密顧問官となる - 一九三六 ● 国東鉄道(杵築～国東間)が開通する - 一九四五 ● 重光葵が降伏文書に署名する ● 多くの人が戦争被害を受ける	- 一九六二 ● 大分空港が国東に移転する - 一九六八 ● 周防灘フェリーが就航する ● みかん作りが盛んになる - 一九六二 ● 大水害が起こる - 一九四五 ● 重光葵が降伏文書に署名する ● 多くの人が戦争被害を受ける	- 一九六二 ● 大分空港が国東に移転する - 一九六八 ● 周防灘フェリーが就航する ● みかん作りが盛んになる - 一九六二 ● 大水害が起こる - 一九四五 ● 重光葵が降伏文書に署名する ● 多くの人が戦争被害を受ける	- 一九六二 ● 大分空港が国東に移転する - 一九六八 ● 周防灘フェリーが就航する ● みかん作りが盛んになる - 一九六二 ● 大水害が起こる - 一九四五 ● 重光葵が降伏文書に署名する ● 多くの人が戦争被害を受ける



せんとうしあらおにめん
千燈寺荒鬼面



きへ
ペトロ岐部



かんまいきようし
神舞行事



よしひろがく
吉弘楽



てんきゅうぎ
天球儀



くにさきし
国東市ができるまでの
市町村の歴史について、
した
下のQRコードからアク
セスしてみよう。



もとだはじめ
元田肇



すおうなだ
周防灘フェリー



おおいたくこう
大分空港



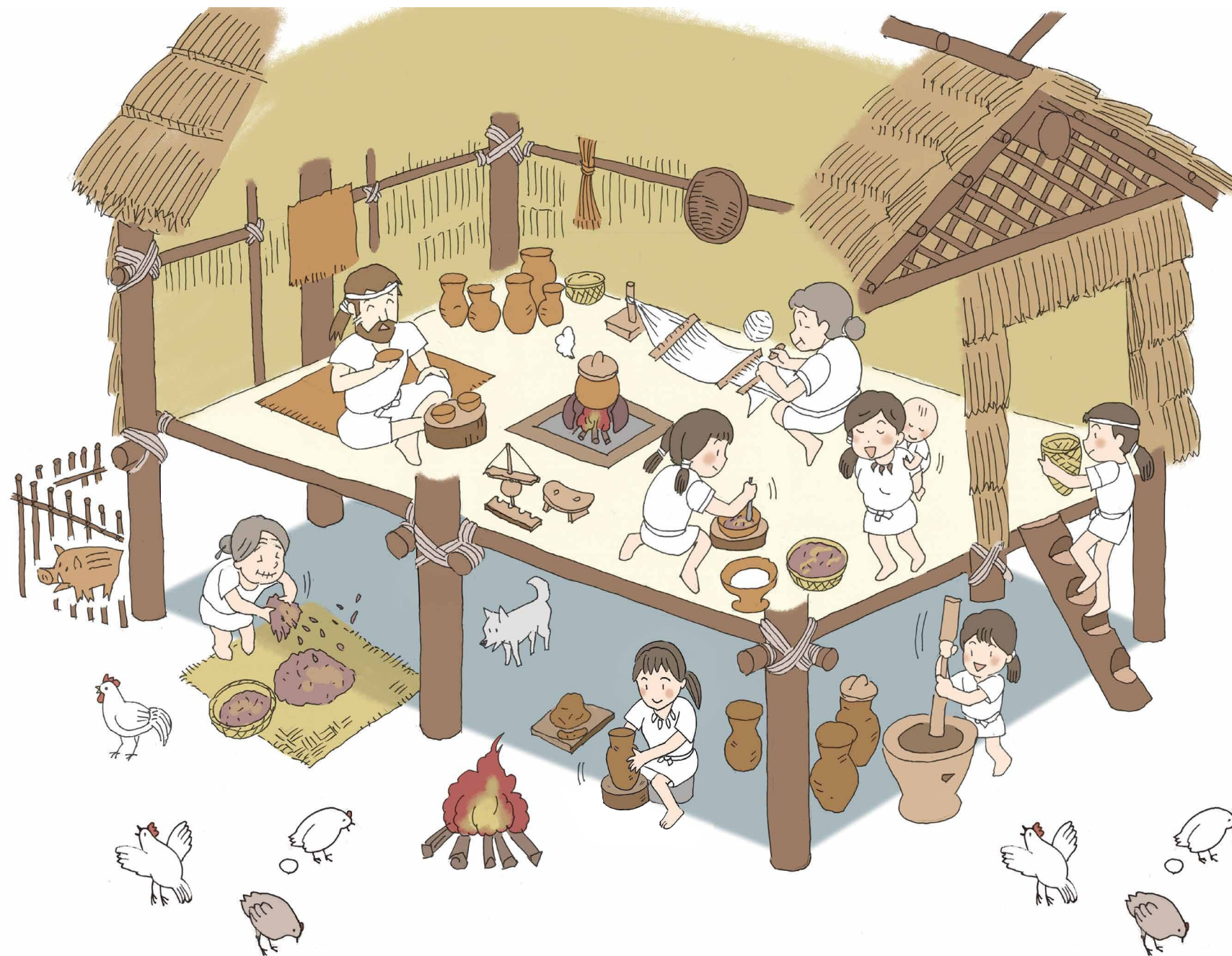
せかいのうぎょういさんにてい
世界農業遺産認定の様子

弥生のムラ ~安国寺集落遺跡~

安国寺集落遺跡は、今からおよそ1800年前の弥生時代の集落(ムラ)の跡です。住居を囲むようにUの字型に大溝があり、その大溝から、ほぼ一棟分※1の建築部材※2が、日本で初めて発見されました。また、籾殻や土器をはじめ、木製の農耕具や生活用具とともに大量の種子類も出土しました。発見されたものを詳しく調べたことで、1800年前の弥生のムラの姿を現在にのみがえらせることができたのです。

※1 一棟分:一つの建物の量 ※2 建築部材:建物の材料

弥生のムラの住居



高床住居の暮らし



国指定史跡安国寺集落遺跡



復元された高床住居



建築部材の出土状況



建築風景



復元された高床倉庫

当時の人が住んでいたと思われる高床住居が復元できたのは、どうしてかな？



①-1

①-2

①-3

②-1

②-2

②-3

③-1

③-2

③-3

③-4

④-1

④-2

⑤-1

⑤-2

⑤-3

⑤-4

⑥-1

⑥-2

1800年前の生活の様子



安国寺式土器

この形をしたつぼは、国東の安国寺地区で初めて発見されたので、地名をとり「安国寺式土器」と呼ばれているよ。口の部分がくの字で二重になっていて、波の模様がつけられ、均整がとれた美しい卵型の土器なんだ。



イチイガシ



ツブラジイ



モモの種



アラカシ



モモ



クリ



赤米



クルミ



トチ



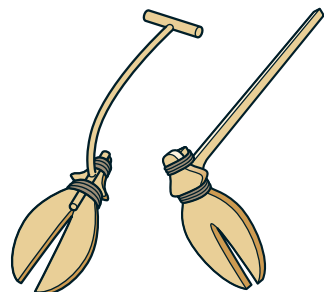
安国寺集落遺跡では、昔の米やクリ、ドングリが見つかったよ。どうやって食べたのかな？



木製のスプーンやジョッキ、机も使われていたんだよ。なすび型の農耕具は、すきやくわにもなったんだ。使い方がわかるかな？



なすび型木器



すき

くわ



三又くわ



スプーン(複製品)



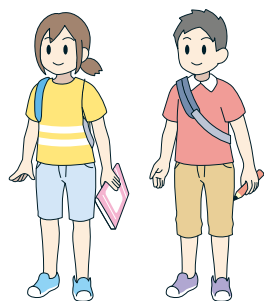
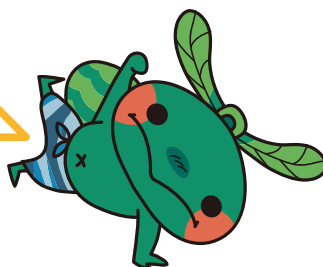
ジョッキ(複製品)



安国寺集落遺跡から出土した木製品を再現したもの
(お祭りで使われていたと考えられる)



国東の歴史が詳しくわかる国東市歴史体験学習館を利用して調べ学習や体験活動にチャレンジしてみよう。

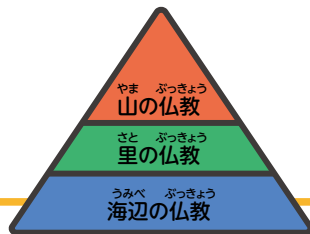
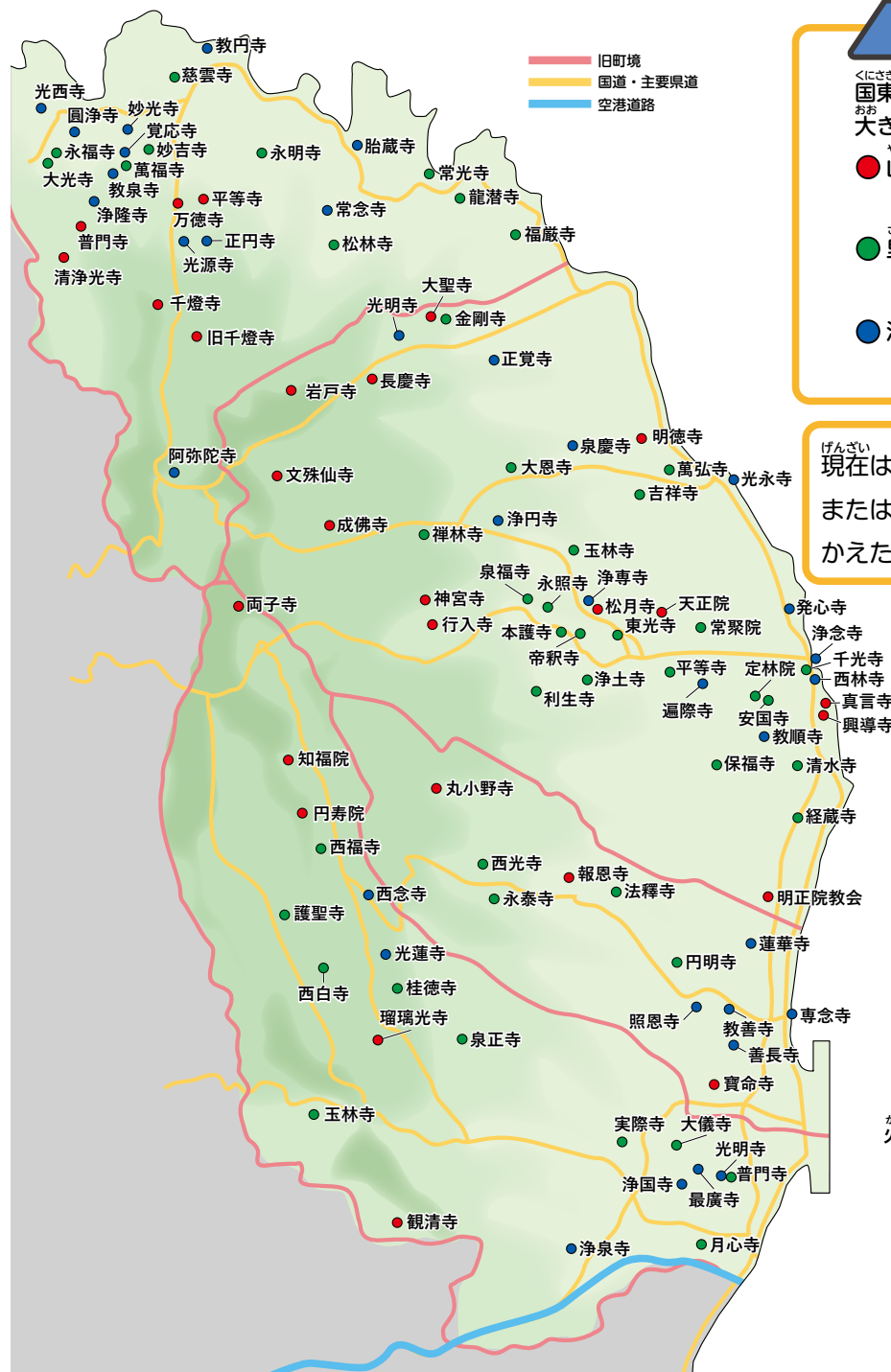


国東の仏教と石仏の里

鎌倉時代以降は武士が台頭した時代でした。中国から禅宗の教えを僧侶が持ち帰り、その教えを武士は熱心に信仰し始めます。室町時代には禅宗寺院が数多く建てられ、これ以後、浄土教系仏教（浄土宗・浄土真宗）も深く禅宗とともに民衆へ浸透していきます。

また国東半島は、鎌倉時代から室町時代以降に「石仏の里」と呼ばれるほど、特有の形をした国東塔をはじめ数多くの石造物が造られました。

国東市の寺院分布図(各旧町史による)

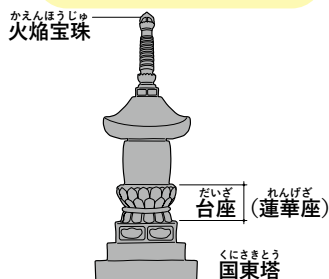


- 国東の鎌倉仏教は大きく3つに分けられるよ
- 山の仏教……密教系(天台宗・真言宗)
 - 里の仏教……禅宗系(臨済宗・曹洞宗)
 - 海辺の仏教……浄土教系(浄土宗・浄土真宗)

げんざい はいじ
現在は廃寺
または以前と宗派をかえた寺院があるよ。

くにさきとう 国東塔とは

くにさきはんとく ちゅうしん
国東半島を中心に分布する宝塔の一種。
くにさきはんとく どくじ
国東半島で独自の発展を遂げました。
とうしん
塔身をのせる蓮華の台座(蓮華座)、塔の先端が炎の形であることが特徴です。



くにさきはんとく いし あんざんがん
国東半島の石は安山岩などの加工しやすい石が多いんだ。
ぞうけいりよく すぐ そくりよ
造形力に優れた僧侶や石工もたくさんいたんだよ。
いしく におうぞう くにさきとう いたび せきぶつぞう
だから仁王像、国東塔、板碑、石仏像など、石造物が市内の寺や神社にたくさん祀られているんだね。
おお
その多くは鎌倉時代から作られているんだよ！
がっこう いま ちば せきぶつぞう さが
学校や家の側にある石造物を探してみよう！



ちいき じいん せきぞうぶつ 地域の寺院・石造物



だいくし りんざいしゅう
大光寺(臨済宗)



あんこくし りんざいしゅう
安国寺(臨済宗)



まんこうし りんざいしゅう
萬弘寺(臨済宗)



さいこうし りんざいしゅう
西光寺(臨済宗)



だいきじ りんざいしゅう
大儀寺(臨済宗)



せんぷくじ そうとうしゅう
泉福寺(曹洞宗)



じつさいじ そうとうしゅう
実際寺(曹洞宗)



じょうせんじ じょうどしゅう
浄泉寺(浄土宗)



れんげじ じょうどしゅう
蓮華寺(浄土宗)



じょうこくじ じょうどしゅう
浄国寺(浄土宗)



たいざうじ じょうどしゅう
胎蔵寺(浄土宗)



こうみょうじ じょうどしんしゅう
光明寺(浄土真宗)



きょうぜんじ じょうどしんしゅう
教善寺(浄土真宗)



こうえいじ じょうどしんしゅう
光永寺(浄土真宗)



きょうえんじ じょうどしんしゅう
教円寺(浄土真宗)

ぜんしゅう おおともし
禅宗は大友氏の家臣の田原氏の信仰によって、くにさきはんとく はい
国東半島に入ってきたんだ。



くにさきとう
国東塔



ほうきょういんとう
宝篋印塔



いたび
板碑



ごりんとく
五輪塔